

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」

視点１ 行政との連携や働きかけ

- ・ 感染症対策に必要な人材確保により教職員の負担軽減
 - 学校サポーターによる消毒作業、印刷業務、軽作業等、作業支援
- ・ 新型コロナによる臨時休業中の児童クラブの開設
 - 終日の開設により、保護者や教職員の負担軽減
- ・ 感染症対策、業務負担軽減のための物品の購入
 - 自動検温器の設置（４台）、自動手指消毒器・非接触体温計（全学級分）消毒・抗菌剤購入
- ・ 学校行事だけでなく、町主催行事や児童生徒への作品等依頼の削減
- ・ 町関係機関と連携した配慮を要する児童生徒家庭への働きかけ
 - 町子育て支援課、訪問型相談員、ＳＳＷ 等

視点２ 自校での取組（かわち学園）

- ・ 学びの継続を保証する学習指導（オンライン学習）
 - オンラインでの学習指導の充実（オンラインでタブレットの使用率 100%）
９月中の臨時休業中でも全児童生徒がオンライン学習に参加
オンライン授業の充実のため、職員間の学び合いによる自主研修の実施
町役場職員によるオンライン学習への支援
- ・ 勤怠管理無料アプリを活用して勤務超過累積時間の見える化
 - 見通しをもった勤務、集計時間の大幅な短縮、町教委と情報の共有
- ・ コロナ禍での感染拡大防止や働き方改革として、会議・研修の持ち方の工夫
 - 資料を事前に知らせることにより実施時間の縮減（50% 短縮を目指す）
 - 代表者参加による会議（打合せ）、希望研修の導入
- ・ 英検、数研、漢検等の検定実施の支援
 - 検定当日は教員が対応せず、町教委職員や校長が監督業務を行う。
- ・ コミュニティスクール（学校運営協議会）を活用した教育活動の展開
 - 地域の支援団体との連携強化、働き方改革に向けた協力依頼
- ・ 部活動の改革、学校行事の見直し（効率化）
 - 複数顧問制、部活動数の削減（本年度は３つの部活動）、活動時間や実施日の見直し、出場する大会の吟味
 - 状況に沿って、行事の見直しや準備・練習の効率化、保護者への情報提供

視点３ 次年度に取り組みたいテーマ

働き方改革を進める上で、取り組みにくい具体的な課題を明確にし、複数の研究テーマから選択し紹介し合うことで、深まりのある研究成果を共有したい。